

死の星 星の詩

ささ あまみ

ひとが死んだら星になるのなら、
きみが死んだらきれいだろう。
そんなことは誰でも知っていて、
何十億もの詩人がうたう。

ぼくたちのきれいは共有されている。
クラウドが空をおおいつくしている。
ぼくたちの眼はもう曇っている。
フラスコの雲のつくりかたを知っている。

ぼくが星をきれいだと言ったのは、
きみが星をきれいだと言ったから。
きみが星をきれいだと言ったのは、
誰かが星をきれいだと言ったから。

おなじような検索結果から
自分の気持ちを探している。
おなじ星の写真を保存して
お互いが死んだ想像をする。